

種別	月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計	本年實人員
病棟内雑役	種別	六人	七人	六人	四人	五人	六人	九人	七人	六人	七人	六人	六人	三三人	三三人
合計	種別	六	七	六	四	五	六	九	七	六	七	六	六	三三	三三

作業治療實施病者延人員

(昭和九年中)

男子病棟外作業病者延人員

種別	月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
作業見習	種別	五人	五人	七人	五人	五人	五人	五人	五人	五人	五人	五人	五人	五五人
農業	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
園藝	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
畜産	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
木工	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
管工	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
縫工	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
塗工	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
掃除	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
補助物	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
合計	種別	二八	二八	三三	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二七〇

種別	月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
炊事	種別	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三三人
手傳	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
新開	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
藥師	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
雜役	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
草取	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
印刷	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
合計	種別	二八	二八	三三	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二七〇

男子病棟内作業延人員

種別	月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
封筒	種別	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三三人
病棟内雑役	種別	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三三人
繪畫	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
合計	種別	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	一〇〇〇

女子病棟外作業延人員

種別	月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
封筒	種別	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三三人
病棟内雑役	種別	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三人	三三人
繪畫	種別	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
合計	種別	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	一〇〇〇



尙本治療ノ副産物トシテ、農業、園藝、畜産等ニ於テハ、金五、〇七五圓六三錢ノ生産品ヲ舉ゲシ外其他ノ作業ニ於テモ其價格ハ見積難キモ夫レ等ニヨリ病院内ハ清潔トナリ、病棟各所ノ破損箇所ハ修理サレ、病院ノ美觀モ一層増大シタリ。例ヘバ本年内ハ園藝部ノ仕事トシテ從來松ノ苗木養成所タリシ所ヲ整理シ、「アランコ」「シロー」其他各種ノ運動具ヲ備ヘ女子運動場ヲ完成シタリ、更ニ又男子運動場モ運動會又ハ野球競技ノタメニ之ヲ擴張セリ。

(イ) 生産品

品名	數	量	金	品名	數	量	金
小松菜	三六九	〇〇〇 <sub>五</sub>	一四・七六 <sub>四</sub>	八ツ頭	六一八	〇〇〇 <sub>五</sub>	五五・九〇 <sub>四</sub>
牛蒡	六一〇	〇〇〇	二四・四〇	馬鈴薯	五、二五七	〇〇〇	一八一・七〇
人蔘	三八九	五〇〇	一五・二四	ズイキ	五二一	〇〇〇	二〇・八四
茄子	三、九一四	五〇〇	一九八・六八	甘藷	二六七	〇〇〇	九・三五
菜豆	一、八〇〇	〇〇〇	八〇・九四	南瓜	九三七	〇〇〇	二九・四八
筍	二、四〇七	〇〇〇	一六九・二〇	胡瓜	一〇四	〇〇〇	四・一六
大根	六七九	〇〇〇	一〇六・一八	大麥	五八九	〇〇〇	四三・〇〇
糯米	一、五二二	五〇〇	三八・一二	白米	一、七五二	〇〇〇	三二九・三八
波羅米	五〇五	〇〇〇	九四・九四	山東米	二、二六六	〇〇〇	六三・四六
里芋	三二七	〇〇〇	一九・六二	小燕菜	一、一六七	〇〇〇	五四・七三
玉子菜	一、六六三	〇〇〇	七八・五三	粉米	五〇〇	〇〇〇	一二・五〇
糖菜	三二七	〇〇〇	九・八一	計	二八、五五四	五〇〇	一、六六二・二一
	四五、〇〇〇		五四・九四				

(ロ) 畜産品

品名	數	量	金	品名	數	量	金
豚肉	一、五二一	五〇〇 <sub>五</sub>	九一・二九 <sub>四</sub>	牛乳	四五四	三九 <sub>合</sub>	一、五七五・五〇 <sub>四</sub>
鶏肉	四三、四五〇		三〇・四二	山羊	牝	四頭	一六・〇〇
鶏卵	一、三九四	〇五〇	六三九・二七	豚	牝	二頭	四・〇〇
鴨卵	八五〇	〇〇〇	四一・六四	牛	牝	三頭	一四五・〇〇
鴨	二七四	五〇〇	五四・九〇	合計			三、四一九・六三

本院病者作業トシテ飼育セル動物ノ本年末現在數ヲ示セバ左ノ如シ

(ハ) 動物

種類	昭和八年度		昭和九年度	
	末現在	現在	出產	購入
牛	八	五	三	一
豚	八	六	一	一
鴨	七	二	一	一
鶏	二	八	一	一
合計	二八	二五	六	四

  

種類	昭和九年度	
	末現在	死亡
牛	一	二
豚	一	一
鴨	一	一
鶏	一	一
合計	四	五

山	ナ	鬼	モ	鯉
羊	ギ	ト	ット	
八	一	九	一	四〇貫
四				
一				
一				
一				
三				
〇				
九				
一				
三				
〇				
四				
〇				
貫				

(三) 手工品及ビ園藝品

品名	數量	價格	品名	數量	價格
覆	四九枚	一七・一五 <sup>円</sup>	品		
繪	四七	九四	プラタナス	九	三・五〇 <sup>円</sup>
は			計	七本六枚七本	二一・五九
か					
き					
籬					

(三) 病者慰安及ビ娛樂

病者慰安ハ本院ノ銳意、留意トスル處ニシテ、病院經費ニテ之ガ費用ヲ支辨スルハ勿論ナルモ松澤病院病者救濟會及本院内ニ事務所ヲ置ク救治會并ニ一般篤志家ノ寄附ニ依リテ左記ノ如キ慰安催物ヲ舉行スル外病者ニハ社會ノ俗惡ナル刺戟ヲ避ケ積極的ニ正シク導ク意味ニ於テ時々名士ヲ聘シテ講話ヲ請ヒ、其外談話、ラデオ聴取、及ビレコードコンサート、相撲、芝居等ノ諸種ノ會合ニ依リ娛樂的施設ヲナン以テ院内生活ノ潤澤ヲ増シ病者ノ娛樂慰安ニ努メツ、

アリ。

病者慰安催物一覽

月日	催物種類	慰安病者數	經費支出者
昭和九年一月十三日	歌留多會	五五人	病者救濟會
二月廿三日	慰安劇會	三三四人	同
三月十二日	初午稻荷祭餘興	三二三人	救濟會
同月廿三日	慰安レコードコンサート	二六九人	松澤病院
同月三十日	同上	二七五人	同
四月廿五日	春季構外運動(八回)	一五六人	同
五月十九日	第六回病者運動會	五二九人	同
六月一日	病者對醫局チーム野球試合	九人	同
同月二日	慰安音樂會	三〇〇人	救濟會
自六月五日	病棟對抗野球リーグ戰	二七三人	松澤病院
至十月廿九日	映畫ノ會	三五五人	救濟會
八月十日	病者盆踊	三三三人	病者救濟會
九月十日	秋季構外運動(九回)	一四一人	松澤病院
九月十五日	病者對文藝春秋チーム野球試合	八人	同
十月五日	映畫ノ會	三三四人	救濟會

十月二十日	慰安演藝會	同	三八二人	病者救濟會
十一月七日	移轉記念餘興演藝會、病者作品展覽會	同	三五三人	救濟會
十一月九日	病者慰安相撲大會	男	四二人	病者救濟會
十一月十六日	病棟對抗野球リーグ戦優勝旗授與式	男	二九人	病者救濟會
十一月三十日	病者卓球大會	男女	二五〇人	松澤病院
十二月十五日	慰安レコードコンサート	男女	二五〇人	松澤病院

(四) 病者運動

病者ノ運動ヲ構外及ビ構内ノ二種ニ分ツ、構内運動ハ隨意構内ヲ散歩シ、一テニス、野球其他種々ナル運動、競技ニヨリ自由ニ運動ヲ爲サシム、又構外運動ハ三等(公費)病者ニ限リ三、四十人ヲ一團トシテ看護人附添ヒ近郊ヲ散策、芋掘、茸狩、栗拾ヒ等ノ催ヲナス、特、一、二等(自費)病者ニ對シテハ此機會ナキ爲メ家人ノ要求ニ依リ治療上差支ナキ限リ構外運動ヲ許スモノトス。

本年中三等病者ニ構外運動ヲ許可シタル人數ハ春季男八九人女六七人、合計一五六人、秋季男八〇人、女六一人合計一四一人ニシテ病者運動上最モ有益ナルモノトス。尙本年ヨリ各病棟ニ野球チームヲツクリ、六月二十二日ヨリ十月二十九日ニ亘リテ其リーグ戦ヲ開始セリ、本年ノ優勝チームハ西第四病棟チーム、ナリ。

(八) 齒科治療

本院西第一開放病棟病室ノ一部ニ齒科治療室ヲ設ケ専門醫(囑託)一名ト助手(看護人)一名トヲ置キテ入院病者ノ治療ニ從事セシメ居レリ、

本年中病者ノ治療延人員ヲ示セバ合計七四四人トス。

等級別	性別		計	摘	要
	男	女			
特等	五人	二人	七人	單ニ治療ヲ受ケタルノミニシテ技術ヲ要セザルモノ	
二等	八人	一三人	二一人		
計	六七	三二	九九		
三等	三五	二六	六一		
計	八〇	四七	一二七		
合計	四三一	三一三	七四四		

(九) 保護室收容

病者ノ取扱ハ開放的ニシテ非強制方法ニ依リ可成的自由ヲ與ヘ居レリ、然レ共殺傷、放火逃走、煽動其ノ他特ニ公安ヲ害スルノ虞アル病者ニ對シテハ監護上已ムヲ得ズ、(七日以上保護室ニ收容セルトキ、又ハ自殺、自傷ノ虞アル病者ニ對シ五日以上必要ナル處置ヲ爲サムトスルトキハ東京府立松澤病院規程第八條乃至第十一條ニ基キ)一時保護室ニ入室セシム。

同規程第九條ニ基キテ右ノ病者ニ必要ナル處置ヲ爲スコトアリ。  
 本年中監護上特殊ノ處置ヲ要シタル人數及ビ其ノ主ナル舉動ヲ示セバ左ノ如シ。

特殊ノ處置ヲ要シタル病者舉動

計	戸障子破損	器物破毀	毆打咬傷	破衣	暴行	逃走未遂	自走未遂	自殺未遂	舉動別		自費		公費			
									人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数
八二〇六	一一七	一五五	一一〇	二〇一	二六三	三七三	四三三	四三五	四八二	一〇二	二七五	一四七	二四七	二四八	七八六	
四八一〇二	一一二	一六一	一〇一	一八四	四三三	一四三	一〇三	一七二	一〇二	二七五	一四七	二四七	二四八	七八六		
一二九	二二	六七	二一	四七	一〇	三八	一七	一七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇		
三〇八一〇二	一〇一	一三三	二一	四七	一〇	一七	一七	一七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇		
一四七五一	二七	一六	八〇	二一	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇		
七五一	四一	一七	一九	三〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇		
二四八	三七	一九	一〇	七〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇		
七八六	五四	一〇	一〇	五八	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇		

(十) 研究及ビ検査設備

本院ニハ病者診察上必要ナル種々ノ研究并ニ検査ヲ爲スベキ設備アリ、則チ病理、心理、化學、「レントゲン」ノ各

研究室等之ナリ。

(一) 病理研究室ニ於テハ病理組織學ヲ研究シ、在院中不幸死亡シタルトキハ家人ノ承諾ヲ得テ解剖ニ附シ、剖檢シタル脳脊髄并ニ内臓器管ハ検査ノ上必要ナル部分ヲ病理的診斷ニ依リ類別シテ保存シ研究ノ資料トナス。本年中剖檢ニ附シタル人數ヲ病名別ニスレバ左ノ如シ。

病名別	男		女		計
	人員	回数	人員	回数	
早發性痴呆	七	(一)	五	(一)	一二
妄想性痴呆	(一)	(一)	(一)	(一)	三
破瓜病	(一)	(一)	(一)	(一)	三
緊張病	(四)	(一)	(三)	(一)	八
パラフレニー	(一)	(一)	(一)	(一)	三
麻痺性痴呆	(一)	(一)	(一)	(一)	三
癲癇性精神病	(一)	(一)	(一)	(一)	三
退行期精神病	(一)	(一)	(一)	(一)	三
動脈硬化	(一)	(一)	(一)	(一)	三
合計	二四	(一)	一二	(一)	三六

(二) 心理室ニ於テハ種々ノ實驗、心理學的検査装置ヲ備ヘ心理検査ヲ行ヒ、以テ診斷ノ一助トナス。現在施行中ノ検査方法中其ノ主ナルモノハ左ノ數種トナス。

第一編 沿革、制度、事務

- 一、領取力検査
- 廻轉式瞬間露出器及び特ニ「シャッター式」瞬間露出器ヲ用ヒ文字并ニ繪畫ニ就キ特種ノ用紙ヲ以テ行フモノトス。
- 二、記名力検査
- 三、聯想検査
- 四、注意力検査
- 五、精神作業能力検査
- 以上ハ夫々特殊ノ用紙ト「ストップウラツチ」トヲ以テ行ヒ必要ニ應ジ數回返覆シテ検査ヲ施行ス。
- 六、智能検査

三宅院長ノ考案ニ係ル検査法及ビ久保氏改訂ノビネーシモン、氏法等ニ依リ特殊ノ用紙并ニ器具等ヲ以テ行フ。本年中施行セル検査數ハ入院病者七十七人外來病者一四人及ビ看護人採用試験ニ執行セルモノ六四人ニシテ其詳細ハ左ノ如シ。

病名	入院病者		外來病者		合計	
	男	女	男	女	男	女
急性精神病	五	三	二	二	七	三
慢性精神病	一	二	一	二	二	四
中毒性精神病	一	一	一	一	二	二
退行期精神病	一	一	一	一	二	二
麻痺性痴呆	一	一	一	一	二	二
合計	八	五	三	四	一一	七

合 計	早發性痴呆		緊眼病		破瓜病		妄想性痴呆		躁鬱病		精神薄弱		看護人採用
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
七九	二六	二二	二二	二〇	二五	二	二	二	一五	一	五	六	二三
六二	九	三	三	六	二	二	二	二	二	二	二	二	四一
一四一	三五	二四	二六	二六	二七	二	二	二	二	二	二	二	六四
九	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	九
五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五
一四	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一四
八八	二七	二二	二二	二二	二五	二	二	二	一七	一	七	二	二三
六七	九	三	六	三	二	二	二	二	二	二	二	二	四一
一五五	三六	二四	二七	二七	二九	二	二	二	二六	二	二	二	六四

他ニ入院病者八五〇人ノ犯罪種別及ビ反社會的行爲ノ有無調査、横濱地方裁判所主催ノ犯罪防止展覽會ニ出品、又躁鬱病者六三〇人ニ付キ過去二十三年間ニ亘ル病型別及ビ發病年齢別統計調査(内閣統計局依頼)癲癩性痴呆病者五七八人ニ付キ過去十二年間ニ亘ル症狀別調査ヲモ爲セリ。

### (十一) 薬餌及ビ食餌

入院病者及ビ外來病者投藥其他從業員其家族ニ對スル投藥ハ水劑、散劑、丸劑、膠囊劑、頓服、錠劑、膏劑其他ニシテ牛乳、鶏卵そつふ等ハ滋養劑トシテ給ス。因ニ水劑、散劑、丸劑、膠囊劑ハ一日分ヲ以テ一劑トシ錠劑ハ普通六個

ヲ以テ一劑トス、頓服ハ一回分ヲ以テ一劑、座劑ハ一個ヲ以テ一劑、膏劑ハ一〇瓦ヲ以テ一劑トシ、外用劑、洗滌劑、含嗽劑、濕布劑、巻法劑二〇〇瓦ヲ以テ一劑トシ、注射劑ハ普通五瓦ヲ以テ一劑、リンゲル氏液、食鹽液ハ二〇〇瓦「アレブール」ハ一個ヲ以テ一劑トシ塗布劑撒布劑點眼劑ハ一〇瓦ヲ以テ一劑トス。

病者賄ニハ調理上衛生ノ注意ハ勿論榮養價等ニ於テモ充分留意シ毎十日ニ献立ヲ替へ、一般病者ノ嗜好物ニ注意調理スル傍ラ治療上必要ナル特別献立ノ方法ヲモトルコト、セリ、病者ニハ内地米(八分搗)ヲ給シ其外病症ニ依リテハばん、粥食ヲ給スルコトアリ、副食物ハ魚類ヲ主トシ肉類野菜等ニテ榮養アル雜品ヲ配ス、朝ハ必ず味噌汁ヲ給シ居レリ。左ニ本年十二月中ノ献立ヲ示シテ參考ニ供スベシ。

病者賄 献立表

十二月一日	朝	晝	夕
特等	汁の實 馬鈴薯 海苔 鶏卵 香の物 佃煮 大阪漬	まぐろさしみ 梔 甘藷 あじ 芹 香の物 澤庵	ピース玉子焼 茄子胡麻和
一等	汁の實 馬鈴薯 海苔 佃煮 香の物 大阪漬	まぐろさしみ 梔 甘藷 鴨門まき 香の物 澤庵	ピース玉子焼 小松菜胡麻和
二等	汁の實 馬鈴薯 海苔 佃煮 香の物 大阪漬	がんもどき、八頭 焼竹輪、 おでん 香の物 澤庵	まぐろさしみ おろし大根
三等	汁の實 馬鈴薯 香の物 大阪漬	馬鈴薯煮付 香の物 澤庵	鯛、蓮根

十二月一日	朝	晝	夕	十二月二日	朝	晝	夕
特等	汁の實 馬鈴薯 鶏卵 納豆 香の物 かぶ	かきフライ、玉菜 トマト、鰹豆 梔 きす、莢豌豆 香の物 澤庵	鯛めし 焼豆腐 竹輪 梔 さより、人蔘 香の物 大阪漬	特等	汁の實 馬鈴薯 鶏卵 金山寺味噌 香の物 かぶ	かきフライ、玉菜 トマト、鰹豆 梔 きす、莢豌豆 香の物 澤庵	鯛めし 焼豆腐 竹輪 梔 さより、人蔘 香の物 大阪漬
一等	汁の實 馬鈴薯 鶏卵 納豆 香の物 かぶ	かきフライ、玉菜 トマト、鰹豆 梔 きす、莢豌豆 香の物 澤庵	鯛めし 焼豆腐 竹輪 梔 半べん、人蔘 香の物 大阪漬	一等	汁の實 馬鈴薯 金山寺味噌 香の物 かぶ	かきフライ、玉菜 トマト、鰹豆 梔 きす、莢豌豆 香の物 澤庵	鯛めし 焼豆腐 竹輪 梔 半べん、人蔘 香の物 大阪漬
二等	汁の實 馬鈴薯 納豆 香の物 かぶ	新鮭 鰹豆 香の物 澤庵	ねた あさりむきみ 若布、ねぎ 汁の油揚、豆腐 香の物 大阪漬	二等	汁の實 馬鈴薯 金山寺味噌 香の物 かぶ	かきフライ、玉菜 トマト、鰹豆 梔 きす、莢豌豆 香の物 澤庵	ねた あさりむきみ 若布、ねぎ 汁の油揚、豆腐 香の物 大阪漬
三等	汁の實 馬鈴薯 香の物 かぶ	鰹豆 香の物 澤庵	ねた あさりむきみ 若布 香の物 大阪漬	三等	汁の實 馬鈴薯 香の物 かぶ	かきフライ、玉菜 トマト、鰹豆 梔 きす、莢豌豆 香の物 澤庵	ねた あさりむきみ 若布 香の物 大阪漬



種	類	量
小あじ天井 かき揚(あさり、三葉) 小松菜胡麻和 菘(きす) 蕨(わづ)	小あじ天井 かきあげ 同上 小松菜胡麻和 同上 菘(きす) 蕨(わづ)	六、七六七 三、七三三 七、七三三 二、二四 三、九八九 四、二
甘鯛 ひじき 油あげ 梔(あじ、芹)	赤魚 ひじき 油あげ 梔(あじ、芹)	四八〇 五六六 三二 五〇
香の物 大阪漬	香の物 大阪漬	一、二六七
香の物 大阪漬	香の物 大阪漬	一、二六七
香の物 大阪漬	香の物 大阪漬	一、二六七

(十二) 裁縫及ビ洗濯

従業員(洗濯夫)ノ洗濯ハ病者ノ寝具、被服、職員雇傭員ノ消毒衣宿直用ノ寝具等ニシテ夏季ハ一週一回若クハ二回冬季ハ一週一回必ず行ヒ、特ニ消毒ヲ要スベキ排泄物ノ附着セルモノニ對シテハ其ノ消毒ニ一層留意洗濯ヲセシメツ、アリ裁縫(裁縫師)ハ専ラ病者ノ寝具ニシテ經濟ト衛生ニ適スル方法ヲ講ゼシメ居レリ。而シテ自費(特、一二等)病者所持品洗濯物ニ付テハ其ノ料金ヲ徴收スルコト、セリ、本年中裁縫及洗濯ニ係ル種類及ビ其ノ數量ハ次ノ如シ。

(一) 裁縫 (新調)

品	目	數	品	目	數
宿直用蒲團	枕	四八〇	宿直用蒲團	枕	四八〇
スレンツボン	スレンツボン	五六六	スレンツボン	スレンツボン	五六六
雲齊地白ツボン	雲齊地白ツボン	三二	雲齊地白ツボン	雲齊地白ツボン	三二
計	計	一、二六七	計	計	一、二六七

同 (修繕)

種	類	數	種	類	數
二布半蒲團	二布半蒲團	四八〇	防毛布	防毛布	一、二七
四布蒲團	四布蒲團	五六六	毛布	毛布	二〇三
防寒衣	防寒衣	三二	毛布	毛布	一九〇
作業用襦袢	作業用襦袢	五〇	毛布	毛布	一、九〇
計	計	一、二六七	毛布	毛布	一、九〇

種	類	數	種	類	數
二布半蒲團	二布半蒲團	六、七六七	防毛布	防毛布	一、二七
三布蒲團	三布蒲團	三、七三三	毛布	毛布	二〇三
四布蒲團	四布蒲團	七、七三三	毛布	毛布	一九〇
五布蒲團	五布蒲團	二、二四	毛布	毛布	一、九〇
六布蒲團	六布蒲團	三、九八九	毛布	毛布	一、九〇
七布蒲團	七布蒲團	三、五	毛布	毛布	一、九〇
八布蒲團	八布蒲團	四、二	毛布	毛布	一、九〇
九布蒲團	九布蒲團	五、〇	毛布	毛布	一、九〇
十布蒲團	十布蒲團	五、〇	毛布	毛布	一、九〇
計	計	一、二六七	毛布	毛布	一、九〇

種別	種	類	數	量	種	類	數	量
二布半蒲團	消	毒	六、七八九	九六	合	症	八九、二七四	
三布蒲團	看	護	一、三八		重	計	三、〇〇二	
四布蒲團	卓	子	八、六八八		前	衣	三、〇〇二	
襪	業	業	一三五		欄	掛	一、一九	
枕蒲團	作	衣	三、六七八		腰	襪	一、〇五	
防座	同	下	一〇五		襪	襪	一、〇五	
帶	二布半蒲團	上	一〇五		綿	衣	一、〇五	
毛布	四布半蒲團	襪	二一五		入	衣	一、〇五	
枕	單	衣	八三		半	衣	一、〇五	
敷	襪	襪	二一五		襪	衣	一、〇五	
窓	襪	襪	一四〇		襪	衣	一、〇五	
椅	襪	襪	一四〇		襪	衣	一、〇五	
夕	襪	襪	一四〇		襪	衣	一、〇五	
夜	襪	襪	一四〇		襪	衣	一、〇五	
給	襪	襪	一四〇		襪	衣	一、〇五	

(八) 自費病者洗濯料金及ビ數量

等級別	種別	數		量		料		計	金
		男	女	計	男	女			
特等	特等	七七〇	一四三	九一三	八〇・六五	一・三〇	八一・九五	四三四・三五	
二	二	四〇一	一〇七	五〇八	四一九・九〇	一四・四五	四三三・三五		
合	計	三、四七八	一二四	四、二九五	五〇〇・五五	一五・九五	五一六・五〇		

(十三) 病者理髮

理髮ハ理髮師囑託一人ヲ置キ、夫レニ當院看護人ニシテ其ノ技能ニ相當經驗アルモノヲ其職ニ當ラシメ一日平均六  
 十人ヲ(病狀ニ依リ病室ニ出張)調髪セシメ居レリ、而シテ自費病者(特、一、二等)ヨリハ所定ノ理髮料(刈込三十錢  
 額剃十五錢)ヲ徴收セルコト、ス、則チ本年中ノ人數及ビ料金ハ左表ノ如シ。

等級別	種別	刈		込		額		額	
		男	女	計	金	男	女	計	金
特等	特等	二三人	一人	二三人	六・九〇	二五人	二六	二九人	四・三五
一	一	三三七	一人	三三七	一〇一・一〇	二七二	二六	二九八	四四・七〇

二	等	一、一八〇	三	一、一八三	三五四・九〇	八四一	一一一	九五二	一四二・八〇
合	計	一、五四〇	三	一、五四三	四六二・九〇	一、一三八	一四一	一、二七九	一九一・八五

(十四) 病者小遣金

本院入院病者ニ對シ、家人若クハ親戚、知己ヨリ小遣金ノ給與アリタルトキハ便宜院長取扱ノ下ニ會計係ニ於テ之ヲ司リ保管ノ責ニ任ジ、病者ノ要求ニ應ジ、要求品目考査ノ上其支途ニ供セシム、而シテ退院又ハ其他ノ事由ニ依リ保管ノ必要ナキニ至リタルトキハ其剩餘金ハ返附スルモノトス、本年中小遣金ノ給與ヲ受ケタル病者ハ男五九〇人、女三五四人合計九四四人ニシテ一ケ年ノ消費額ハ男一萬五千四百八十八圓四十八錢、女六千四百六十八圓二十四錢、合計金二萬千九百五十六圓七十二錢、一日一人平均六十圓十三錢強トナル、其詳細ハ左表ノ如シ。

小遣金ノ給與ヲ受ケタル病者數及ビ一ケ年延人員

等級別	種別	小遣ノ給與ヲ受ケタル病者數		同上		一ケ年延人員	
		男	女	男	女	男	女
特等		二人	一人	五七八人	三六五人	九四三人	
一等		三六	一八	八、八六九	三、五四七	一二、四一六	
二等		一八七	一三一	四三、〇四九	三〇、七一二	七三、七六一	
計		二〇五	一〇〇	五二、四九六	三四、六二四	八七、一二〇	
合	計	五九〇	三五四	九四四	一三八、九六七	九一、七六九	二三〇、七三六

小遣金ノ給與ヲ受ケタル一ケ年消費額及ビ一日平均消費額

等級別	種別	一ケ年消費額		一日平均消費額			
		男	女	男	女		
特等		一一三・三八	一八四・二一	二九七・五九	三〇	五〇	八〇
一等		三、四八六・四一	九五一・八一	四、四三八・二二	九・五五	二・六一	一一・一六
二等		六、五六九・二五	一七〇・六六	九、七三九・九一	一八・〇〇	八・六八	二六・六八
三等		一〇、一六九・〇四	三〇六・六八	一四、四七五・七二	二七・八五	一一・七九	三九・六四
計		五、三一九・四四	一六一・五六	七、四八一・〇〇	一四・五七	五・九二	二〇・四九
合	計	一五、四八八・四八	四六八・二四	二一、九五六・七二	四二・四二	一七・七一	六〇・一三

(十五) 水道施設及ビ給水方法

本院ノ水道設備ハ際泉井及ビ掘井戸ニ依ル湧水ヲ七馬力半モーター直結井口式渦卷唧筒二臺十馬力モーター及ビガ

ソリン、エンジン兩用井口式渦卷唧筒一臺、鑿泉揚水用十五馬力空氣壓搾機一臺ノ揚水力ヲ以テ直徑五尺長サ十五尺ノ壓縮水槽ニ送水シ、之ヨリ各病棟及ビ炊事場、洗濯場其他一般ニ給水スルモノニシテ、一日ノ湧水量ハ約六千石一日ノ使用量約四千石ナリ、貯水槽兼井戸ニハ常ニ約二千石ハ滯水スルコトヲ得レバ非常ノ場合ト雖モ不便ヲ感ズルコトナシ。

(十六) 消防及ビ救護

本院ハ比較的多數ノ建物ヲ有スルヲ以テ消防設備モ亦完備シ消火栓ハ本館階上ニ二ヶ所階下ニ一ヶ所各病棟ニ(開放病棟ヲ除ク)二十八ヶ所、屋外ニ十七ヶ所ヲ裝置セリ、之ニ二十馬力タービン式ガソリン唧筒及獨逸型腕用唧筒ヲ備へ之ガ操縦方法ハ特命ノ従業員ニ兼務訓練セシメ、自衛消防團ト稱シ、非常ノ任ニ當ラシム、又一般従業員ハ平素病者救護方法ヲ練習シ事變ノ際ハ速カニ各自分擔ノ事務ニ依リ防禦ヲナスモノトス。特ニ病者避難處置ニ就テハ全員協力一致ノ行動ヲ執ルコト、セリ。

(十七) 燈火及ビ暖室法

本院ハ京王電氣軌道會社ヨリ晝夜送電ヲ受ケ、燈火及ビ病者ノ治療ノ用ニ供セリ、西第四病棟、中第四病棟(保護室)ニハ興奮セル病者ヲ收容セルヲ以テ火氣ハ一切用ヒズ暖房ヲ施設ス、冬季ハ温水ニヨリ室内ノ溫度ヲ加減セリ。西第五病棟、西第六病棟及ビ中第五病棟ニハ蒸氣暖房ヲ設備シ使用セリ。

(十八) 夜警及ビ巡回

各病棟、病室前ノ廊下一定ノ場所ニ病者見張所アリテ不寢番看護人ノ見張ヲナス、不寢番看護人ハ前半夜、後半夜後交代ニテ勤務ニ從事シ、看護夫(婦)組長ハ三十分毎ニ全部ノ病棟ヲ巡回シテ不寢番看護人ノ勤怠ヲ監視スルト共ニ不慮ノ出來事並ニ病者ノ舉動又ハ病狀ノ異變ニ注意ス。宿直看護長ハ各病棟ヲ巡回シテ看護人ノ監督并ニ病者ノ舉動ニ留意シ其人員ヲ點檢ス。巡視ハ交互一時間毎ニ病院内ヲ巡回シテ非常ノ事變警戒並ニ院内風紀、衛生事項ニ注意ヲナサシム。

(十九) 文書收受及ビ發送

本年中取扱ヒタル(日表其他定例報告書ヲ除キ)收受文書八一、三六三通、發送文書一、二三六通ナリ其詳細ハ左表ノ如シ。

種別	庶務		會計	
	收	發	收	發
東京府廳	六一	二〇九	九四	九四
管內官公署	四〇九	六〇九	二八	二〇
管外官公署	一一四	一一二	六	六
其他	六三一	八七	二〇	九四
通	通	通	通	通

合計	一、二一五	一、〇一七	一四八	二一九
----	-------	-------	-----	-----

(二十) 病者面會

本院入院病者へノ面會ハ特ニ面會ヲ謝絶セラレタルモノト治療上差支アル病者トテ除ク外ハ定規ノ時間内(三十分ヲ限り)面會ヲ許可スルモノトス。

病者へノ面會希望者ハ受付ニテ面會承認證ヲ受ケ承認ヲ得ベシ。承認ヲ得タル後ト雖病者ノ病狀、病室ノ都合、或ハ當院ノ差圖ニ從ハザル時ハ謝絶スルコトアルベシ。本年中病者へノ面會來院者ハ男三、七九三人、女二、二六一人、計六、〇五四人ニシテ、其月別ヲ示ス。

月別	種別		計	公費		計	合		計
	男	女		男	女		男	女	
一月	二〇七	一〇八	三一五	一一九	八四	二〇三	一九二	五一八	
二月	一七七	一五八	三三五	一〇八	八五	一九三	二四三	五二八	
三月	一六三	一三三	二九六	一二七	八九	二一六	二二二	五二二	
四月	一九二	一二八	三二〇	一一一	七五	一九六	二〇三	五二六	
五月	二六五	一三六	四〇一	一一二	九〇	二〇二	二二六	六〇三	
六月	二〇九	九四	三〇三	一〇八	四六	一五四	一四〇	四五七	
合計	一、二一五	一、〇一七	二、二三二	一、〇一七	一、〇一七	二、〇三四	二、〇三四	四、〇六八	

(二十一) 參觀

本院ノ參觀ヲ冀望スルモノハ受付ニ就テ承合セラルベシ、左ニ抵觸スル者ハ參觀ヲ拒絕スルコトアルベシ。

一、酒氣ヲ帶アル者 二、本院ニ於テ不適當ト認メタルモノ、三、言語舉動ノ如何ニヨリ病者ニ不快ノ感ヲ與フルト認メタルモノ、四、案内者ノ指揮ニ從ハザルモノトス。

本年中本院ノ參觀者ハ三、七六九人ニシテ内男二、四三一人女一、三三八人トス左ニ其月別及職業別ヲ示ス。

月別	種別		計	公費		計	合		計
	男	女		男	女		男	女	
一月	二一〇	一一八	三二八	一〇〇	五八	一六八	一七六	四九六	
二月	一九一	一一一	三〇二	七三	五二	一二五	一七三	四三七	
三月	二〇八	八〇	二八八	七五	四七	一二二	一二七	四一〇	
四月	二〇〇	八八	二八八	一八四	七七	二六一	一六五	五四九	
五月	二一六	九七	三一三	一一一	九三	二〇四	一九〇	五二七	
六月	一八二	一一四	二九六	一二五	九〇	二一五	二〇四	五二一	
合計	一、二一五	一、〇一七	二、二三二	一、〇一七	一、〇一七	二、〇三四	二、〇三四	四、〇六八	

月別	種別		計	公費		計	合		計
	男	女		男	女		男	女	
一月	一三九	一九八	三三七	四三	三三	一四七	一三五	一八九	
二月	一三七	一九八	三三七	四三	三三	一四七	一三五	一八九	
合計	一、二一五	一、〇一七	二、二三二	一、〇一七	一、〇一七	二、〇三四	二、〇三四	四、〇六八	

五月	一九二	一六	二〇八	十一月	四一六	四二	四五八
六月	四四七	二五二	六九九	十二月	七六一	二三二	九九三
七月	四六	四三	八九	合計	六四	一五〇	二一四
八月	六〇	一五四	六〇				
九月	八八	二四二	二四二				
合計	二四二	二四三	二四二				

參觀者職業別

職業別	男	女	計	職業名	男	女	計
醫師	二四	一	二四	判檢事	三五	一	三〇
醫學士	九四	二九〇	一、二三六	司法官	一八六	一	一八七
藥劑師	八三四	六三四	一、四六八	警察官	二	一	三
產婆	二	三〇	三二	軍人	二九	一	三〇
看護人	五二	二八八	三四〇	辯護士	二五	一	二六
公務吏	九七	九七	一九四	名譽職員	九	一	一〇
社會事業員	七八	八八	一六六	新聞雜誌記者	一八	一	一九
方面委員	七七	一	七八	合計	二、四三一	一、三三八	三、七六九
會社員	一七	一	一八				

(二十二) 日誌主要事項

- 一月四日、御用始ニ際シ看護人男女百三十二名ニ對スル精勤證授與式舉行並ニ蝶友會員五十三名ニ勤績紀念品授與式ヲ行フ、
- 一月十一日、雜誌「雄辯」記者佐治克己氏參觀、
- 一月十二日、世田谷區第三方面委員七名參觀、
- 一月二十三日、實踐女學校生徒百十九名參觀、
- 二月二日、ブラジル國サオ、パウ、ロ市醫科大學教授パール、ウアット、ロンゾー氏外一名來院セラル、
- 二月五日、入院病者及ビ從業員一同ニ對シ陽チアス豫防注射施行
- 世田谷區旭小學校内母ノ會々員二十五名參觀、
- 二月七日、中野區中野女子高等學校生徒八十名參觀並ニ横須賀社會委員七名、東京高等師範學校生徒十七名參觀、
- 二月十日、東京盲學校生徒三十八名參觀、
- 二月十三日、雜誌「雄辯」記者二名參觀、
- 二月十六日、愛知縣營繕技師二名來院セラル、
- 二月十七日、青山師範學校生徒八十名參觀、
- 二月十九日、大妻高等女學校生徒三十名參觀、
- 二月二十二日、傳染病豫防ニ關シ世田谷區役所ヨリ係員來院セラル、

- 二月二十三日、傳染病豫防ニ關シ東京市役所保健局ヨリ係員來院セラル、  
二月二十六日、玉川學園生徒十三名參觀、  
二月二十七日、千代田女子專門學校生徒三十七名參觀、  
三月八日、精神講話ノ爲メ川村理助氏來院セラル、女子高等師範附屬高等女學校專攻科生徒四十名參觀、  
三月九日、橫須賀海軍病院、軍醫須藤中佐外一名來院セラル、  
三月十二日、院內ニ鎮座セル稻荷神社例祭ニ當リ病者慰安會開催、  
三月十六日、東京女子醫學專門學校生徒五名及ビ牛込高等商業學校生徒十五名參觀、  
三月二十日、北海道帝國大學醫學部學生四十名及ビ千代田女子專門學校生徒十六名、芝愛宕警察署員五名參觀、  
三月二十三日、東京帝國大學附屬醫院看護婦二十三名參觀、  
三月二十六日、同上三十七名參觀、  
四月四日、滿洲醫科大學學生三十七名並ニ名古屋醫科大學附屬醫員三名參觀、  
四月六日、豐島區社會委員十八名參觀、  
四月七日、全國警察講習生五十七名參觀、  
四月九日、大阪府立中宮病院醫員及ビ臺灣總督府中央研究所技師來院セラル、  
四月十日、東京府學務部衛生課石橋屬、立木伐採實地調査ノ爲メ來院セラル、  
四月十一日、消防用水ニ關シ世田谷消防署ヨリ消防曹長久間木重吉氏來院セラル、  
四月十二日、報德會主幹金原善三郎氏參觀、

- 四月十三日、足立區第一方面委員十五名參觀、  
四月十六日、明治大學々生建設物見學ノ爲メ來院、  
四月十七日、毎夕新聞記者小山安暉氏參觀、  
四月十八日、印度人及ビ東京市社會局事務員附添參觀、  
四月二十四日、京都醫科大學調劑員二名參觀、  
四月二十六日、フランス國醫師一名東京府衛生課員附添參觀、  
五月二日、警察新報記者佐野福藏氏外一名參觀、  
五月四日、第一區府縣立全生病院醫員二名參觀、  
五月五日、東京地方裁判所判事八並達雄氏外五名參觀、  
五月九日、東京市巢鴨保養院看護長參觀、  
五月十一日、昭和醫學專門學校生徒百十名參觀、  
五月十五日、東京府立化學工業學校長外職員六名參觀、  
五月十八日、東京市向島區方面委員十二名參觀、  
五月十九日、第六回病者慰安運動會開催盛會裡ニ午後四時閉會、  
五月二十三日、早稻田大學學生三名參觀、  
五月二十四日、東京府會議員山田清外氏外九名參觀、  
五月二十六日、第一區府縣立全生病院職員七名及ビ中華民國文教廳視察員一名、明治大學學生二十名參觀、

- 五月三十一日、日本赤十字社看護婦十名參觀、
- 六月一日、明治大學々生五十七名、東京帝國大學生二十六名及び東京地方裁判所判事宮本増藏氏外書記二名參觀、
- 六月五日、東郷元帥國葬儀ニ付午後ヨリ事務ニ支障ナキモノニ限り隨意參拜ヲ許シ院門前芝生ニテ奉送ス、
- 六月七日、東京府立第三高等女學校生徒四十五名參觀及び報徳高等女學校長小野寺榮氏參觀、
- 六月八日、東京高等獸醫學校生徒十八名參觀、
- 六月九日、帝國女子醫藥專門學校生徒百三十名參觀、
- 六月十二日、東京帝國大學法學部學生五十名參觀、
- 六月十四日、東京府廳內中央社會事業協會會員參觀、
- 六月十五日、東京女子高等師範學校生徒四十八名及び東京聾話學校職員十名參觀、
- 六月十八日、齋藤內務政務次官、勝田參與官視察セラル、
- 六月十九日、早稻田大學法學部學生五十名參觀、
- 六月二十日、日本醫科大學生八十名及び世田谷區松澤尋常高等小學校職員九名參觀、
- 六月二十一日、日本醫科大學生八十名及び明治大學法科學生二十五名荒川區第二方面委員六名參觀、
- 六月二十三日、府參事會員九名、東京府輕部衛生課長、村田屬、長島屬、府會書記出納閣查ノ爲メ來院セラル、
- 六月二十六日、日本女子齒科醫學專門學校職員十三名並ニ生徒三十名及び上智大學生三十三名參觀、
- 七月二日、東京水上警察署巡查六名參觀、
- 七月四日、赤坂表町警察署、堀口刑事參觀、

- 七月十一日、世田谷警察署司法係巡查二名參觀、
- 七月十六日、神奈川縣立芹香院看護人十一名參觀、
- 七月十七日、東京府參事會員丸山秀天氏外八名會計檢査ノ爲メ來院セラル、報知新聞社記者川村實氏及び松澤郵便局員十名參觀、
- 七月二十七日、警視廳特別警備隊森一雄氏外一名參觀、
- 八月十日、建設物修繕個所調査ノ爲メ東京府營繕課遠藤技師仲川瀧口屬外四名來院セラル、
- 八月十四日、東京府立清瀨病院大熊書記來院セラル、
- 八月十八日、警視廳警務課金子技師病者診察ノ爲メ來院セラル、
- 八月二十日、早稻田第二高等學院生徒二名及び日本大學教授野口謹次郎氏外一名參觀、
- 八月二十五日、刑務官教務囑託十八名參觀及び東京府營繕課永井技師來院セラル、
- 九月五日、東京府衛生課齋藤屬外一名來院セラル、
- 九月十七日、世田谷區役所稅務課長及び戶籍課長參觀、
- 九月二十一日、暴風雨ノ爲メ院內樹木ノ倒覆甚大ナリシモ幸ヒ家屋ノ被害少シ
- 九月二十六日、東京辯護士會々員二十五名參觀、
- 九月二十七日、東京地方裁判所篠原檢事來院セラル、
- 九月二十八日、東京府社會委員爲藤五郎氏外四名及び東京府衛生課瀧口屬來院セラル、明治大學商科學生十五名參觀、



- 九月二十九日、日本齒科學校學生三十名參觀
- 十月九日、東京帝國大學醫學部學生百五十名參觀
- 十月十一日、東京帝國大學經濟學生三十名及ビ滿洲帝國奉天第一監獄、典獄長外四名參觀
- 十月十二日、臺灣社會事業主事村不備兒氏及ビ早稻田大學法學部學生六十名參觀
- 十月十六日、東京盲學校生徒四十名參觀
- 十月十九日、東京控訴院檢事局司法官試補三十名及ビ岩手醫學專門學校學生三十七名參觀
- 十月二十日、本院病者慰安會午後一時ヨリ開催諸演藝ノ催アリテ四時閉會セリ
- 十月二十二日、東京キリスト教女子青年會員二十一及ビ日本醫科大學生百名參觀
- 十月二十六日、千葉醫科大學生七十名參觀
- 十月二十九日、シヤム國醫師一名東京市社會局員一名隨行參觀
- 十月三十日、傳染病研究所講習生二十名參觀
- 十月三十一日、東京府輕部衛生課長來院セララル
- 十一月一日、東北帝國大學醫學部學生二百名參觀
- 十一月七日、第十五回本院移轉記念式並看護學講習第二十九回卒業及ビ第三十一回修業式舉行終ツテ病者慰安會ヲ開催來賓トシテ東京府知事代理輕部衛生課長、警視廳衛生部長代理渡邊豫防係長、保科世田谷警察署長、爲谷世田谷消防署長、小野多摩少年院長、吉野府會議員來院セララル
- 十一月十日、司法省刑務練習生七十二名及ビ明治大學生百二十名參觀

- 十一月十二日、帝國女子醫藥專門學校藥學科生徒百三名參觀
- 十一月十三日、日本赤十字社病院看護婦三十五名及ビ法政大學法學部學生二十名參觀
- 十一月十四日、東京市本所區第一方面委員十五名參觀
- 十一月十五日、財産法人濟生會病院看護婦見習生二十名參觀
- 十一月十六日、日本大學醫學科學生百五十名參觀
- 十一月十九日、東京市淺草區第五方面委員十一名參觀
- 十一月二十日、東京文理科大學生三十一名及ビ日本赤十字社看護婦二十九名參觀
- 十一月廿一日、サルバドル國醫師チー、マツクス、オラノ氏參觀及ビ早稻田大學生七十名參觀
- 十一月廿四日、巢鴨刑務所保健技師近藤梁二氏外看守長三名參觀
- 十一月廿九日、東京帝國大學附屬醫院看護婦四十名參觀
- 十一月三十日、法政大學生二十五名參觀
- 十二月一日、防火模擬演習舉行ニ付爲谷世田谷消防署長來院セラレ終ツテ講評アリ
- 十二月四日、東京帝國大學附屬醫院看護婦四十名參觀
- 十二月六日、司法事業職員養成所員十九名參觀
- 十二月十日、大妻高等女學校生徒四十名參觀
- 十二月十二日、早稻田大學生二十五名及ビ世田谷警察署員二十名參觀
- 十二月十三日、千代田女子專門學校生徒二十名參觀

十二月十七日、府會議員内田秀五郎氏外十二名、東京府輕部衛生課長、遠藤技師、瀧口屬來院セラル、十二月廿一日、明治大學女子部生徒五十五名參觀、

以上

(二十三) 蝶友會

本會ハ明治三十八年五月(巢鴨時代)ノ設立ニシテ本院ニ在職スル全員ヲ以テ組織シ會員ノ親善共濟ヲ計ルヲ以テ目的トス。

會員ハ毎月ノ俸給、給料ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ贖金シテ不時災難ノ場合相救問シ、又ハ永年勤績者ノ勞ヲ慰籍スルモノトス。

本會々則ハ昭和八年々報ニ詳記セリ其後會則ノ改廢等ナク依テ省略セリ。

本會現在役員及會員左ノ如シ。

- 會長 一人
- 副會長 一人
- 理事 一人
- 評議員 一人
- 會員 三八七人

本年入會者五四人、退會者四九人、(入會ハ拜命ノトキ退會ハ退職ノトキ)ニシテ、而シテ本年中表彰セラレタル者滿

五年以上勤績者四二人滿十年以上九人滿十五年以上七人滿二十年以上二人滿二十五年以上一人ニシテ夫々記念品ヲ贈呈セリ。

尙共濟ニ依リ金員ヲ給與セラレタル者ハ疾病給與七五人死亡給與二人、家族死亡弔慰金二〇人、災害給與二人、退職給與三〇人産婦給與二人合計一三一人トス。

本年度本會ノ收入、支出決算額ヲ示セバ收入高千九百九十五圓四十二錢支出高千七百十六圓二十一錢ナリ。其内譯ハ左ノ如シ。

收入ノ部	總收入高
一金壹千九百九拾五圓四拾貳錢	
内 譯	
金七拾壹圓五拾貳錢	前年度繰越金
金壹千九百貳拾壹圓六拾錢	本年度會費
金貳圓參拾錢	預金利子
支出ノ部	總支出高
一金壹千七百拾六圓貳拾壹錢	
内 譯	
金六百八拾貳圓壹錢	退職給與金
金參百九拾九圓也	疾病給與金
第一編 沿革、制度、事務	

金九拾圓也	本人死亡給與金
金貳百圓也	家族死亡給與金
金貳拾六圓也	公傷給與金
金拾圓也	出產給與金
金參拾五圓八拾錢	災害給與金
金貳百四拾九圓四拾錢	記念品購入代
金四圓也	用紙購入代
金貳拾圓也	事務員手當
差引殘金貳百七拾九圓貳拾壹錢	翌年度へ繰越

(二十四) 病者救濟會

本會ハ東京府立松澤病院病者救濟會ト稱シ、入院病者ノ慰安、救濟、並ニ退院者ノ授産、職業紹介、保護等ヲ目的トス。

本會ハ之等ノ目的ヲ達成セムガ爲メ時々慰安會ノ開催及娛樂品ノ購入、設備、園藝ニ關スル設備、其他必要ト認ムル事業ヲ篤志家ノ寄附或ハ官公署ヨリノ助成金、獎勵金又ハ補給金ヲ以テ之ニ充テ大ニ實績ヲ擧ゲツ、アリ。

左ニ本年度收支決算ヲ示ス。

一金壹千九百貳拾貳圓九拾八錢

内 譯

金八百參拾五圓七拾七錢	一 般 收 入
金九百四拾五圓六拾四錢	事 業 收 入
金四拾五圓九拾五錢	預 金 利 子
金五拾圓也	契 約 保 證 金
金四拾五圓六拾貳錢	松 の 綠 基 金

支 出 ノ 部

一金八百六拾八圓六拾貳錢

内 譯

金四百八拾四圓八拾錢	一 般 支 出
金參百八拾參圓八拾貳錢	事 業 支 出
差引殘金壹千五拾四圓參拾六錢	昭和十年度へ繰越

本會々則ハ昭和八年々報ニ記載セルヲ以テ省略シタリ。

